

共同利用施設の再編集約・合理化に関する事例【地域作物、北海道農政事務所】

北海道 豊頃町農業協同組合（新基本計画実装・農業構造転換支援事業：R7～R8）

- 豊頃町内のばれいしょ集出荷貯蔵施設を再編し、冷蔵及びエチレン設備を備えたバラ積み貯蔵に対応可能な施設を新設。
- 機能集約による貯蔵ロスの低減、原料品質の向上、受入取扱量の増加が見込まれ、生産者の労働負担軽減のほか、農業所得の拡大等といった効果が期待できる。

現状・課題並びに再編集約等の内容

【産地の現状・課題】

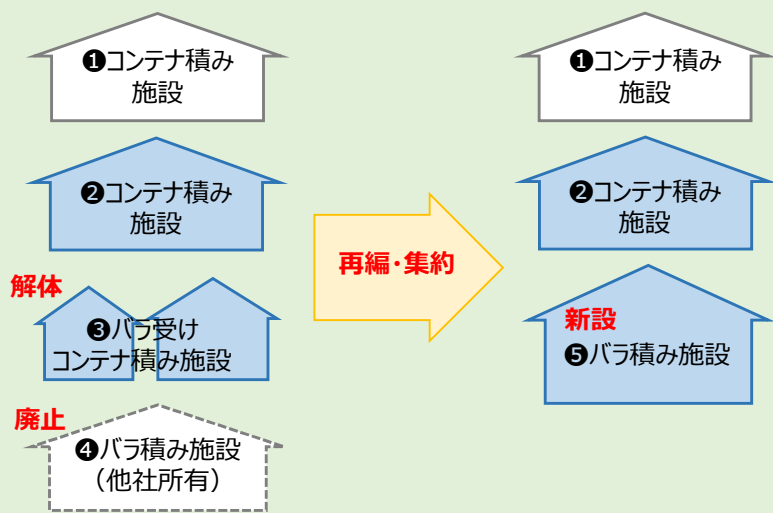
●ばれいしょの作付は畑作物全体の約20%を占め、そのうち加工用ばれいしょについては、契約栽培による生産が中心で価格が比較的安定していることから、作付面積が増加している。

●実需者ニーズの高まりに応えるため、農業者からも増産意向があるものの、既存施設の受入能力不足が課題となっている。

●既存施設の一部は冷蔵機能が備わっておらず、品質の低下から貯蔵ロスが発生している。

【再編集約等の内容】

●豊頃町内のばれいしょ集出荷貯蔵施設を再編し、コンテナ積み貯蔵に加え、冷蔵及びエチレン設備を備えたバラ積み貯蔵に対応可能な施設を新設する。



再編集約・合理化等で期待される効果

- 冷蔵及びエチレン設備を設けたバラ積み貯蔵施設を新設することにより、貯蔵中の腐れによる歩留まり低下を抑制し、貯蔵期間の延長から有利販売や輸送問題の緩和に対応する。
- コントラクター等からのバラ積みによる受入への対応が可能となり、受入取扱量が増加することが見込まれるほか、新施設整備と選別受入ラインの強化により収容の処理能力が増強し、生産者の機上選別の人員削減効果や生産者からの荷渡しに係る待機時間の短縮が可能となり、収益性向上が図られる。
- 近年の加工用ばれいしょへの作付拡大の意向に対応することが可能となり、生産面積や受入数量の増加が見込まれる。



【出荷量の推移（t）】



【出荷額の推移（千円）】

他産地へのメッセージ

- 補助事業の要件整理は要綱やQ&Aだけでは判断が難しい部分もあったが、1年以上の計画期間を確保し、行政とも協議を重ねながら粘り強く進めることができた。
- 地域の合意形成については、生産者や受益者からの処理能力や収益性向上への要望を踏まえ、成果目標等の方向性を共有しながら検討を行うことで円滑に進めることができた。